

一般質問 Q&A



(仮称) 上下水道部が配置される予定の
浄化センター管理棟

組織統合について、具体的に検討中

A 「掛川市新水道ビジョン」において推進している、運営基盤の安定化の実現方策として、取水から排水までを一体的なものとして捉え、水道と下水道の窓口ワンストップサービス化及

Q 水行政における経営基盤の強化の動きが活発化している。

上下水道事業を組織統合し、取水から排水までの水環境を一体として捉え、水政策をより強固にするために組織統合を速やかに進めるべきと思うが、いかがか。

上下水道事業の組織統合を



公明党かけがわ
山本 行男

び業務の効率化等を検討しています。
具体的には、水道課と下水整備課の組織を統合し、浄化センター管理棟に(仮称)上下水道部を置くことを検討しています。

助産師会との「災害時母子支援協定」締結を

Q 災害時は、病院では緊急患者や異常分娩等を優先的に対応するため母子等は早期に退院し、地域での生活を強いられる。

助産師は知識と経験を持つ専門家であるので災害時には母子への支援は効果的と思う。
早期の支援協定が必要と考えるが、いかがか。

助産師会と協定締結について検討する

A 災害時において、助産、妊婦や産婦、新生児のケアなどを専門とする助産師に、妊産婦や乳幼児が安全で安心して生活できる支援活動をお願いすることは、母子の大きな支えになつていただけるものと考えています。

母子の身体上のリスク管理や、心のケアも合わせた活動が可能となることから、今後助産師会とどのような協定締結ができるか検討していきます。

地区まちづくり協議会の課題に対する市の支援は

Q まちづくり協議会の役員の負担が大きことから、成り手不足が課題となっている。また、まちづくり事業費では地区間格差が生じている。これらをどう解決するのか伺う。

地区組織や事業の見直しを進めて課題解決を図る

A 現在、各地区において、組織や事業の見直しが行われております。西山口地区などの事例を参考に、他の地区においてもその地区の特性や経緯を活かしながら、自らより良い地区組織の姿を考えていただきたいと思いますし、市としても、相談、情報提供、負担軽減の具体的な検討などをしていきます。

まちづくり事業費の地区間格差については、現在、協議会組織が活動を開始したばかりであるため、今後、地域の実行力の向上と交付金のあり方などを検討していきます。



創世会
小沼 秀朗

かけがわ茶エンナーレの評価と検証は

Q 広報不足のため市民への浸透が十分との声や費用対効果の検証を望む声が上がっている。次回開催へ向け、どのような検証方法を実施し、より多くの市民を巻き込み、次回へ生かすのか伺う。

次回開催に向け、今回の検証をしっかりと行う

A まだ、十分な検証ができていない段階ですが、当市ほどの規模の自治体が単独で1か月間に渡り、芸術祭を実施した例は他にないと思います。手探りの中での実施で課題も多くあったと思いますが、しっかりと検証して次回の開催に向けて検討していきます。



茶エンナーレ 掛川城御殿 自立型展示作品